

2018年度 ムンド・デ・アレグリア学校自己評価 関係者評価

学校番号	9571	学校名	学校法人ムンド・デ・アレグリア学校	評価者氏名	見野美香
------	------	-----	-------------------	-------	------

- I 目指す学校像
1. 教育目標 (1)「母語教育」で「豊かな心」を育み、「考える力」をつけ、日本語教育で「生きる力」をつける。
2. 目標具現化の柱
- (1)母語課程カリキュラムを実施することにより、基礎・基本の定着と学力の向上を図る。
 (2)母国語及び母国の文化を継承することにより、アイデンティティを確立させる。
 (3)日本語教育も強化することにより、バイリンガル人材の育成を目指す。
 (4)日本の文化・習慣・マナーを学び、日本社会に適応できる人材育成を目指す。
 (5)進路意識を高め、自己の指導力向上を図る。
 (6)積極的に地域交流、教育機関連携を行い、多文化共生社会実現を目指す。
 (7)教職員の組織力を高め、活力ある運営体制を確立する。
 (8)教職員の意識を高め、生徒一人一人の自己目標を達成する。

II 本年度の取り組み

【評価基準 A:十分目標を達成することができた B:おおむね目標を達成することができた C:あまり目標を達成することができなかった
 D:ほとんど目標を達成することができなかった

	取組目標	取組手段	成果目標	自己評価				関係者評価				意見・反省と課題	
				A	B	C	D	A	B	C	D		
1	「わかる・力のつく」授業実践	・授業アンケートの活用 ・効果的指導法の研究・共有	(1) 授業で学力・技能が向上したと回答する生徒80%以上									○	
			(2) 他の教員の授業参観年2回以上									○	
			(3) 勉強会の実施年6回以上									○	
			(4) 研修・講座への参加年1回以上									○	
2	校内規則及び社会規範の順守 基本的生活習慣の確立と心身の健康管理	・初期指導の徹底と点検の実施 ・日本の習慣・マナー指導の実施 ・健康教育の充実	(1) 生活点検年6回以上実施							○			
			(2) 交通安全講座依頼							○			
			(3) 薬物乱用防止講座依頼							○			
			(4) 栄養講座依頼								○		
3	効果的な進路指導・キャリア教育指導の実施	・進路目標の決定 ・進路目標実現のための学力養成 ・進路設定のための学習	(1) 高校生以上進路面談の実施							○			
			(2) 高校3年生三者面談の実施							○			
			(3) 日本での進学のための日本語特別授業の実施							○			
			(4) 英検・漢検受験奨励							○			
			(5) 日本での進学システムの説明							○			
			(6) オープンキャンパスへの参加							○			
			(7) 職業講座開催依頼							○			
			(8) 職場体験実施依頼							○			

2018年度 ムンド・デ・アレグリア学校自己評価 関係者評価

学校番号	9571	学校名	学校法人ムンド・デ・アレグリア学校	評価者氏名	佐藤 宏明
------	------	-----	-------------------	-------	-------

I 目指す学校像 1. 教育目標 (1)「母語教育」で「豊かな心」を育み、「考える力」をつけ、日本語教育で「生きる力」をつける。

2. 目標具現化の柱
- (1) 母語課程カリキュラムを実施することにより、基礎・基本の定着と学力の向上を図る。
 - (2) 母国語及び母国の文化を継承することにより、アイデンティティを確立させる。
 - (3) 日本語教育も強化することにより、バイリンガル人材の育成を目指す。
 - (4) 日本の文化・習慣・マナーを学び、日本社会に適応できる人材育成を目指す。
 - (5) 進路意識を高め、自己の指導力向上を図る。
 - (6) 積極的に地域交流、教育機関連携を行い、多文化共生社会実現を目指す。
 - (7) 教職員の組織力を高め、活力ある運営体制を確立する。
 - (8) 教職員の意識を高め、生徒一人一人の自己目標を達成する。

II 本年度の取り組み

【評価基準 A:十分目標を達成することができた B:おおむね目標を達成することができた C:あまり目標を達成することができなかった D:ほとんど目標を達成することができなかった

	取組目標	取組手段	成果目標	自己評価				関係者評価				意見・反省と課題
				A	B	C	D	A	B	C	D	
1	「わかる・力のつく」授業実践	・授業アンケートの活用 ・効果的指導法の研究・共有	(1) 授業で学力・技能が向上したと回答する生徒80%以上					○				母語教育だけでなく、日本語教育にも力を入れている。大学をはじめ、関係機関との連携による指導法の研究に積極的である。
			(2) 他の教員の授業参観年2回以上					○				
			(3) 勉強会の実施年6回以上					○				
			(4) 研修・講座への参加年1回以上					○				
2	校内規則及び社会規範の順守 基本的生活習慣の確立と心身の健康管理	・初期指導の徹底と点検の実施 ・日本の習慣・マナー指導の実施 ・健康教育の充実	(1) 生活点検年6回以上実施					○				
			(2) 交通安全講座依頼					○				
			(3) 薬物乱用防止講座依頼					○				
			(4) 栄養講座依頼					○				
3	効果的な進路指導・キャリア教育指導の実施	・進路目標の決定 ・進路目標実現のための学力養成 ・進路設定のための学習	(1) 高校生以上進路面談の実施					○				進学だけでなく、就職に向けた支援についても全校体制で臨んでいる。企業や支援団体との連携にも積極的である。
			(2) 高校3年生三者面談の実施					○				
			(3) 日本での進学のための日本語特別授業の実施					○				
			(4) 英検・漢検受験奨励					○				
			(5) 日本での進学システムの説明					○				
			(6) オープンキャンパスへの参加					○				
			(7) 職業講座開催依頼					○				
			(8) 職場体験実施依頼					○				

	取組目標	取組手段	成果目標	自己評価				関係者評価				意見・反省と課題	
				A	B	C	D	A	B	C	D		
4	生徒個性の伸長と自主性・積極性の涵養	学校行事、生徒会活動におけるリーダー育成	(1) リーダー研修年2回実施					○					
5	日本語学習及び地域交流・教育機関連携の実施	<ul style="list-style-type: none"> 日本語教育の充実 日本語能力試験受験奨励 日本社会に適応するための知識向上 地域交流活動の積極的実施 見学、研修の積極的受け入れ 	(1) 中学生以上日本語能力試験受験者80%以上					○					
			(2) 生徒のレベルに合わせたクラス編成					○					
			(3) 漢字昇級試験毎月実施					○					
			(4) 地域のイベントへの参加					○					
			(5) 見学・研修の受け入れ					○					
6	安全・安心な教育環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> 校内外の清掃の徹底 地震防災体制の確立 送迎バス利用のためのルール確立 	(1) 整備委員会による点検の徹底					○					自校のみならず、地域や公立小中学校との協働による安全・安心な教育環境の整備に努めている様子が伺える。
			(2) 郊外清掃活動年1回以上					○					
			(3) 避難訓練実施月1回					○					
			(4) 消火・防災訓練依頼					○					
			(5) 送迎ルート安全確認年3回					○					
			(6) 安否確認方法整備					○					
			(7) クラス毎の連絡網確認年3回					○					
7	活力ある学校運営体制の確立	<ul style="list-style-type: none"> 学校運営、課題についての共通理解の徹底 生徒募集のための活動の充実 	(1) 共通理解のための校内研修実施					○					
			(2) 教務内規改訂の検討					○					
			(3) 年度途中での課題確認による計画の修正					○					
			(4) 学校HP更新月1回					○					
			(5) オープンデー年1回以上					○					
			(6) 学校案内チラシ配布年1回以上					○					